

平成 29 年 1 月 11 日

PRESS RELEASE



Japan
International

独立行政法人国際協力機構

沖縄の泡盛技術で造ったラオスのお酒「美らラオ」を ラオス・ジャパンフェスティバル 2018 で展示販売

ラオス南部、ベトナムとカンボジアの国境を接する最南部、アタプー県サーイ村。ベトナム戦争当時、多くの被害を受けました。今でも不発弾が残っており、そのことが発展を阻害している要因でもあります。この地域の発展、活性化を目指し、JICA 草の根技術協力事業「ラオラオ酒協同組合結成によるアタプー県共同体機能強化支援事業」が 2017 年 4 月から始まりました。

現在まで、各家庭で造られていたラオラオ酒を、コープおきなわの「協同運営」のノウハウを取り入れることで、誰か一部の人が儲かるのではなく、工場を作って「みんなで造って、みんなで売る」ことで、生産量の拡大、質の向上をめざし、取り組んでいます。資材購入、建設を村人たちが自ら行ってきた酒造所もようやく完成し、現在久米仙の平良会長の指導の下、ラオラオ酒の蒸留が行われています。

2018 年 2 月 2 日(金)～2 月 4 日(日)に、ラオスの首都ビエンチャンにて開催される「ラオス・ジャパンフェスティバル」に、この事業で造ったラオラオ酒を展示・販売します。沖縄の泡盛製造技術をもとに作られたラオラオ酒、その名も「美らラオ」。現地の人々が自分たちの未来を託して造っているちゅらラオがたくさんの人のもとに届くことを願っています。



ラオス・ジャパンフェスティバル 2018

日時：2018 年 2 月 2 日～4 日(3 日間)

2 月 2 日(金) 18:00～21:00

2 月 3 日(土) 11:00～21:00

2 月 4 日(日) 11:00～21:00

会場：Lao ITECC 屋外スペース

主催者：ジャパンフェスティバル実行委員会

内容：日本の製品、文化などを紹介し、日本とラオスの交流を促進する

参加者：石原修・本園新海（コープおきなわ）、Keoveela Maharlat・Pouyai Maharlat・Noi Silimar 他



【本件に関する問い合わせ先】 ラオスでのフェスティバルにつき、写真などはこちらから提供させていただきます。

JICA 沖縄 市民参加協力課 西原 久美子 [TEL:098-876-6000](tel:098-876-6000)

E-mail:Nishihara.Kumiko@jica.co.jp

コープおきなわ ラオラオ酒プロジェクトマネージャー

石原 修 [TEL:090-5488-4556](tel:090-5488-4556)

E-mail:ishihara@okinawa.coop